

向墓山古墳

向墓山（「墓山の向こう」）という名前のこの古墳は墓山古墳のすぐ東にある。

1989 年に、この古墳の部分的な発掘作業が行われ、堆積層が検査された。砂と泥を重ね、一層ずつ押し固めながら層を積み上げて作られたことがわかった。練り土構造同様に、砂と泥を押し重ねることで墳丘が非常に安定したものになり、地震や浸食に耐えることができる。また、向墓山古墳と墓山古墳がつながった 2 ヶ所の陸橋があったこともわかった。橋は儀式の際の通路として使われていたようだ。

向墓山古墳は高さ 10.7 メートルで面積はおよそ 0.3 ヘクタールである。5 世紀前半の築造時は 2 段築成で、こぶし大の葺石が敷き詰められ、平坦な上部には埴輪が列になって並べられていた。